



「新たな波」

(一社) 栃木県子ども会連合会会長 内藤 進

令和5年度は、子ども会に新たな波の予兆がします。

新型コロナウイルス感染症も、本年5月から「5類感染症」に変更されます。これは「個人の選択を尊重し国民の皆様の自主的な取組をベースとしたもの」に変更されます。しかしながら完全に終息した訳ではありませんので、状況を見ながらの活動は必要と考えます。その中で、通常の活動が可能な状況になったとも言えます。

このコロナ禍の中で、本県子ども会会員減少が更に進みました。これは全国的にも同じ傾向が見られます。この現象に歯止めを掛けようと、各市町子連組織と連携をしながら対策を実施してきましたが、コロナは減少に拍車を掛ける存在となっています。

その様な中で、国会議員122名で組織された「子ども体験活動による成長、子育てを支援・推進する議員連盟」(通称:子ども会議連)が国会議員有志により昨年10月に設立されました。子ども会にとって必ず大きな援護になると確信しています。全子連の組織としても、子ども会議連と連携を密にして、より良い子ども会を目指しています。全子連組織とは別に新しい組織を法律に則って立ち上げ、窓口とする準備も進めています。

全子連執行部・事務局、全子連理事会は、私たちの最大の目的である単位子ども会の活性化に繋がる施策を打ち出して行きたいと考えています。

幸い私は全子連執行部の一員である全子連副会長として、全国各地区に出向いて各都道府県会長と意見交換を実施し、この意見を集約して文部科学省担当者と定期的に話合いの場を設けて、子ども会としての要望を伝え実現に向けて会議を重ねています。

文科省とのパイプがより太くなると、実感しています。

これらは全て全国の子ども会、都道府県の単位子ども会の活性化に繋げ、子ども会会員減少の歯止めをしたいと考えています。

栃木県子ども会連合会の市町子連組織の皆さんと、話合い、知恵を出し合い、そして子ども達との話合いの場を設けたいと考えています。

令和5年度も、「子どもの手による子ども会」、「異年齢集団活動」、「様々な体験活動」の、より活性化を目指して皆さんと進んで行きたいと考えています。

「教育県栃木」の建設を目指して平成4年に設立された「とちぎ教育の日」実行委員会が所期の目的達成のため解散されました。「栃木県子ども会連合会」へ感謝状が贈呈されました。





令和4年度 第3回理事会 開催

3月12日(日) 13:30~
教育会館 大会議室
出席理事: 15名中13名 出席監事: 1名

令和4年度事業経過報告、令和5年度事業計画案について執行部より説明があり、質疑応答が行われました。
令和5年度の予算の方向性と、運営費軽減対策も含め事務局より報告がありました。



令和4年度 第3回市町子連会長会議 開催

3月12日(日) 14:50~教育会館 大会議室
出席市町子連会長: 22名中13名

各市町子連が令和4年度の活動状況について情報交換を行いました。「子どもフェスタ」「大凧あげ」「指導者研修」など様々な子ども会活動を行った市町子連もありました。また、単子の継続やJ.Lの継承などの課題も聞かれました。子どもが減ってしまった単子を廃止にせず休会にし担当者を残すことや、J.Lの育成のため中学校と協力したり、チラシを配付したり、など工夫を凝らして課題に向き合っているとの事でした。

4・5・6月行事予定

- ◇ 4月16日(日) 第1回市町子連会長会議 9:30~ 教育会館1階 中会議室
- 第1回理事会 10:20~ //
- ◆ 5月21日(日) 令和5年度県子連定時総会 14:00~ 教育会館3階 大会議室
※5/9締め切り 及び表彰式
- ◇ 5月27日(土)~28日(日) 栃木県ジュニア・リーダー研修大会 1泊2日 なす高原自然の家
※5/9締め切り
- ◆ 6月17日(土) 安全啓発初級指導者養成講習会 9:30~ 教育会館3階 大会議室
※5/31締め切り



市町子連事務局の皆様へ

◎総会等により市町子連会長が変更になりましたら、変更届「**共済様式08**」を県子連までご提出ください。

◎「令和4年度事業決算報告書」「令和5年度事業実施計画書」を5月31日までにご提出
お願いいたします。(県子連HP市町子連担当者用に様式を格納しています。)

※市町子連の総会資料でも可能です。お忙しい時期かと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

◎【共済金請求】こども医療費助成制度で医療費支払いが0円の場合でも、健康保険を適用した30%が医療共済金として支払われます。